

CONTENTS

組合長あいさつ	P1
森林・林業の再生に向けた改革の姿	P1
久万林業活性化センターからご紹介	P2～P3
久万林業活性化センター進捗状況	P4
市場木材選別機導入・第40回林業まつり	P5
草花だより・購買案内	P6
購買品案内	P7
木材市況	P8



久万広域森林組合だより

Kumakouiki Forest Owner's Association

林業まつり協賛木材記念市

新年のごあいさつ



代表理事組合長
大野 護

新年明けましておめでとう
ございます。

組合員の皆さまには、お健
やかに新春をお迎えのこと
とお慶び申し上げます。

また、旧年中は、組合運営
に対しまして温かいご支援と
ご協力を頂きましたことに
衷心からお礼申し上げます。

さて、森林は、国土の保全
や木材の生産・治山治水等、
私たちの生活と密接な繋が
りを持つており、近年、森林
の持つ多面的機能への期待は
益々大きくなってきています。

当組合でも、このような森
林の機能を持続するため、
「新たな中期経営計画」で掲
げております「組合員の経済
的利益の向上」と「地域の森
林を守り育て、有効に活用
する」に主眼をおいた運営を
行っております。

特に活性化センターの団地
施業は地域に対する経済的
な波及効果も高いことから、
組合の中核事業と位置づけ、
地域の森林管理に努めている
ところでございます。

また、組合の安定した経営
と成長も視野に入れた事業
展開で、厳しい状況ながら、
11月末現在の経営状況は、
全体で30,671千円の純
利益となっております。

ところで、久万市場におい
ては、出荷量の増加に伴い、
やむを得ず材の受け入れを
中止する等、皆さまに大変
ご迷惑をおかけしておりま
す。その解決策といたしまし
て、選別機の導入及び貯木
場の整備に着手いたしました。
さらに、原木の整理がスムー
ズに行えるシステムも整えて
いく所存ですので、ご理解賜
りますようお願い致します。
終わりに、組合員の皆さま
の今年一年のご多幸とご健
勝を御祈念致しまして、新年
のご挨拶とさせていただきます。
本年もどうか宜しくお願
い申し上げます。

～森林・林業の再生に向けた改革の姿～

「コンクリート社会から木の社会」への転換を目指した「森林・林業再生プラン」が、平成21年12月25日に農林水産省から公表されました。このプランの進捗本部の下に設置された森林・林業基本施策検討委員会の最終とりまとめとなる「森林・林業の再生に向けた改革の姿」が平成22年11月30日に配布されました。

これによると、これまでの森林造成に主眼が置かれた森林・林業政策によって、施業集約化や路網整備・機械化の遅れ・脆弱(ぜいじゃく)な木材供給体制・森林所有者の林業への関心の低下という悪循環に陥っていたため、新たな森林・林業政策を構築していく必要性を見出し、以下の点を推進して10年後の木材自給率50%を目指すこととなっています。

- ① 適切な森林施業が確実に行われる仕組みを整えること
- ② 広範に低コスト作業システムを確立する条件を整えること
- ③ 担い手となる林業事業者や人材育成をすること
- ④ 国産材の効率的な加工・流通体制づくりと木材利用の拡大を図ること

当組合においても、これにあたる久万林業活性化プロジェクト事業を進めて参りました。今後も常に改善を行い、久万林業のより良い明日を目指してこの事業に取り組んで参ります。

